

昭和52年から平成元年

年度	昭和52	昭和53	昭和54	昭和58	昭和61	平成元年
総人口 (人)	1,037,239	1,052,679	1,069,655	1,130,131	1,174,716	1,220,774
給水人口 (人)	985,000	1,028,000	1,049,000	1,107,000	1,153,500	1,200,000
給水戸数 (戸)	336,136	350,788	366,488	419,806	458,766	516,163
給水区域内人口 (人)	1,025,000	1,044,000	1,062,000	1,125,000	1,170,000	1,217,000
給水区域内世帯数 (世帯)	345,000	355,000	365,000	416,000	441,500	477,000
給水普及率 (%)	96.1	98.5	98.8	98.4	98.6	98.6
水道普及率 (%)	95	97.7	98.1	98	98.2	98.3
年間給水量 (m ³)	130,331,280	104,023,460	122,696,990	129,611,000	130,517,900	144,923,700
一日最大給水量 (m ³)	443,050	371,500	408,900	447,700	434,600	473,600
一日平均給水量 (m ³)	357,072	284,996	335,238	354,128	357,583	397,051
一人一日平均給水量 (リットル)	363	277	320	320	310	331
家庭用一人一日平均 使用水量(リットル)	172	150	161	175	182	194
年間有効水量 (m ³)	111,442,548	92,833,785	104,279,583	118,077,948	120,293,478	133,286,336
有効率 (%)	85.5	89.2	85	91.1	92.2	92
節水じゃ口(節水コマ 入りなど)普及率(%)	4.7	79.8	81.2	89.6	90.5	91.4
節水型便器普及状況 (個)	—	658	10,876	81,900	179,407	278,015
雑用水道施設設置数 (累計)	—	—	1	74	138	198
市民の節水意識 (%)	—	97.4	77.4	68.8	70.9	67.6
年間降水量 (mm)	1,331.5	1,259.0	1,645.0	1,601.0	1,671.0	1,466.5
下水道普及率 (%)	36.1	37.3	40.1	54.9	70.4	83.6
施設能力 (m ³ /日)	478,000	478,000	498,000	628,400	651,500	673,300
水道料金改定 (%)	50.36%増					消費税加算 (10月)3%
家事用13mm 一戸1ヵ月基本料金	280	280	280	650	760	782
制限給水日数		287日(5/20～3/24)				
水道局の出来事	53.3 瑞梅寺ダム・瑞梅 寺浄水場完成	53.8 節水普及課新設 54.2 福岡市節水型水利 用等に関する措置 要綱施行 54.3 節水シンボルマー ク決定	54.4 節水の日制定	58.11 筑後川受水開始		1.3～9 アジア太平洋博覧 会 カップ館出展

備考

雑用水道施設設置数は地区型雑用水道を含まない。
 給水人口は推計人口をもとに算出しているため、国勢調査ごとに遡及修正する。
 給水普及率=給水人口/給水区域内人口×100
 水道普及率=給水人口/総人口×100
 一日平均給水量=年間給水量/当該年間日数
 下水道普及率=処理区域内人口/総人口
 一人一日平均給水量=一日平均給水量/給水人口
 有効率=年間有効水量/年間給水量×100
 有効水量=浄水場から送られた水量に対して、実際使用された水量。
 市民の節水意識は、市政アンケートによる。